

# 試験直前の対応

# 試験当日にやったこと①

気象予報士試験を目指す皆さん、こんにちは。  
「気象予報士受験者応援団」を運営している北上大です。  
通信メールでの  
**気象予報士受験のつぼ**  
いよいよ明日(1月26日)は第41回気象予報士試験日ですね。  
試験直前なので、号外発行です。  
今回の「応援祝文」はこれです。

試験直前  
分かって  
せんよ。  
わたしが  
まず、多  
回  
寄るか  
るから  
めて  
この問題

のだ。  
実技試験は、**国語**の試験だとも標榜されているのだが、それに対応できなければ、試験合格はありえないのだから、  
**問題文を正確に読み取れ**  
さらに、実際の事例は示さないが、次のような問題にしばしば引っかかりやすいので、注意しよう。  
★ それぞれの**前線記号**を付して描画せよ  
⇒ 前線記号を描かせるときには、**閉塞前線を意識**すること。  
単純な 温暖前線や寒冷前線は**実線**で描かせることが多い。  
★ 前線の位置を**実線**で示せ  
⇒ 温暖前線や寒冷前線のように種類が決まっているときに出题される。  
上と逆で、半丸や、▲の記号を描いてはいけない。  
★ **単位**を付して答えよ  
⇒ これは「**渦度**」や「**鉛直速度**」でよく使われる問題だ。  
数字だけを書いても**止解**にならないので、必ず**単位**も記入すること。  
★ **絶対値**を答えよ  
⇒ プラスかマイナスが付いているときに、**符号**を書いてはいけない。

考にして、それぞれ**十種**雲形で答えよ。  
わたしは、衛星写真だけをじっとらんで悩んでしまったのだが、「**図**も**参考**にして」をきちんと読んでいれば、そこに**雲記号**が書かれているので、悩む必要はなかったのだ。  
だから、**問題文を正確に読み**  
それでは、明日の試験では、知っている知識をすべからず、**問題を正確に読み**  
知らないものは仕方がない、実力が足りなかったのだから、**問題文の動詞**いほど悔しい負け方がある。そのためにも、しつこいけれど、もう一度言います。  
**問題文を正確に読み**  
このメールに返信をすると、北上大にメッセージが届くので、あればお寄せください。  
気象予報士受験者応援団 北上大  
登録解除のご案内: 必ず**ご利用規約**をご確認ください。下の解除用メール宛に空メールを送ると、当メルマガが終了します。



試験当日は、試験が始まるまで、北上さんの直前応援祝文を何回も繰り返し読み返しました。前日に受験予定の仲間にも印刷して配りました。試験当日に新しいことを覚えようとしても無理なことなので、あとは試験で取りこぼしを極限させるために、北上さんの祝文で試験のために洗脳するのが大切だと思いました^^;笑

## 試験当日にやったこと②

究極の選択 10 か条

問題文を正確に読みとれ！  
問題文を正確に読みとれ！  
問題文を正確に読みとれ！

白紙で出さくなら、問題文を  
書く！！  
新しいことを覚えるのではなく、  
A3をなるべく活用する！！

を採る究極の選択。  
口に近い。

実技試験は  
国語の試験

問題文の勘違いは  
怖い負けが怖い！！

1) 対流圏界面がどうのこうのといふことなら「極く垂れ下がる」と書く。  
上層に暖気核があると圏界面が低く垂れ下がってくる。これ以外に圏界面の問題が出されるケースは極めて少ない。

2) 航空機に対する影響が分からなかったら「晴天乱気流」と書く。  
地表付近では「ダウンバースト」もあるが、上空で航空機に関する問題はこれしか出ない。

3) 衛星画像で、細く長く伸びた雲の名前は「トランスパースライン」と書く。  
端部にギザギザがあれば関連しないし、しばしば上記の航空機(晴天乱気流)とセットになる。  
シーラストリークや巻雲とか巻層雲の可能性もあるが、出題比率は「トランスパースライン」が多い。

4) 今後の台風の変化をなんと言うかと問われて、分からなかったら「温帯低気圧化」と書く。  
台風が今後どうなるかと言う聞き方なら、台風の「発達」や「衰弱」があるが、現象として名詞化していないので、なんとと言うかと名称を問われたら「温帯低気圧化」しかない。

5) 雨の種類が分からなかったら「しゅう雨」と書く。  
地味な「地雨」よりも、対流活動に伴う湿平な「しゅう雨」の方が出題頻度が多い。

6) 風がどうたらこうたら言う話になったら、まず「収束」を考える。  
第 2 選択肢としては「シア」があるが、迷ったら「収束」の可能性にかける。

7) 積乱雲などの対流活動に伴う災害は、訳も分からず「落雷」「短時間強雨」「突風」と書く。  
災害御三家として覚えておけば、きっと役に立つ。

8) 成層状態を問われて分からなかったら「対流不安定」と書く。  
解答としては、「安定」「条件付不安定」「不安定」の可能性もあるが、出題比率は対流不安定が多いの

いっちゃんも  
とりかえしは  
ない！！  
know the answer  
じゃない！！

どうしてもわからない時、「命を守る」とキーワード

・特別警報... 命を守る行動  
重大な災害が起こる  
可能性が著しく大きい  
場合

・命を守る行動  
・重大な災害が起こる可能性が著しく大きい場合

問題を  
正確に

あとは北上さんの「究極の選択10か条」も何度も見返しました。みんなにも配りました。  
付箋のメモは、スクリーングで指導された事項です。

①実技試験は国語の試験、②記述で白紙で出すくらいなら、問題文をそのまま書け！など

③特別警報も注意しておいたほうがいいといわれました。(重大な災害が起こる可能性が著しく大きい場合。穴埋めで「命を守る行動を取ってください」など出る可能性があるかも問われました)



# 試験後の対応

